



## 平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月9日

上場会社名 三共生興株式会社

上場取引所 東大

コード番号 8018 URL <http://www.sankyoseiko.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川崎 賢祥

問合せ先責任者 (役職名) 本店本部社長室ゼネラルマネージャー (氏名) 下川 浩一

TEL 06-6268-5188

四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	18,365	3.0	1,244	23.7	1,266	14.6	758	17.8
24年3月期第2四半期	17,828	△0.8	1,005	△1.5	1,104	5.8	643	△11.2

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 △377百万円 (—%) 24年3月期第2四半期 △265百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	16.76	—
24年3月期第2四半期	14.23	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	46,548	21,627	45.6
24年3月期	48,048	22,577	46.2

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 21,244百万円 24年3月期 22,194百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	—	—	12.50	12.50
25年3月期	—	—	—	12.50	12.50
25年3月期(予想)	—	—	—	12.50	12.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	39,000	1.2	3,000	2.6	3,200	2.3	2,000	10.6	44.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料 P. 4 「 2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項 (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期2Q	60,000,000 株	24年3月期	60,000,000 株
25年3月期2Q	14,736,748 株	24年3月期	14,736,748 株
25年3月期2Q	45,263,252 株	24年3月期2Q	45,263,252 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表の四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、様々な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。

(ご参考)

平成 25 年 3 月期の個別業績予想 (平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
通 期	百万円 % 10,300 △0.9	百万円 % 1,600 △0.2	百万円 % 2,000 △ 2.3	百万円 % 1,300 △26.2	円 銭 28 72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、様々な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における経済環境は、東日本大震災からの復興需要を背景に、景気の持ち直しの動きが見られたものの、欧州債務危機の再燃や中国経済の減速等、世界景気の下振れ懸念がわが国の経済を下押しするリスクとなり、先行き不透明感が強まる状況のうちに推移いたしました。

当社グループを取り巻く繊維・アパレル業界におきましては、前年の東日本大震災による自粛ムードから消費マインドが大きく好転したこともあり緩やかな回復基調となりましたが、景気の先行き不安に加えて残暑等の天候不順により、消費者心理の冷え込みが強まり、衣料品消費は鈍化の傾向をたどる厳しい状況で推移いたしました。

このような状況のなか、当社グループは、各事業、各分野において多様化するライフスタイルや消費者ニーズを的確に捉え、ブランドを軸とした価値ある商品の企画・生産・販売に取り組んでまいりました。

この取り組みを通じて、国内での事業基盤の確立を図るとともに、成長が期待できるアジアマーケットにおきましては、「ダックス」を軸として事業の拡大を図ってまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の当社グループの売上高は前年同期比3.0%増の18,365百万円、営業利益は前年同期比23.7%増の1,244百万円、経常利益は前年同期比14.6%増の1,266百万円、四半期純利益は前年同期比17.8%増の758百万円となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ① ファッション関連事業

ファッションブランド商品の国内市場におきましては、当初は春物を中心に消費回復の兆しが見え始めたものの、5月以降の天候不順、特に残暑による秋物の販売不振もあり厳しい商戦となりましたが、ブランドの特性を活かした商品企画と効率的な納品体制の確立に努めた結果、比較的健闘いたしました。

「ダックス」を中心としたファッションブランド商品のアジア市場における販売におきましては、成長するマーケットを巡って他のブランドとの競合が激化するなか、ブランドのステータスを堅持し着実に事業の拡大を図る施策が効を奏し、売上、利益ともに順調に推移いたしました。

また、英国ダックス社におきましては、「ダックス」ブランドのライセンスとして紳士服でミラノ・コレクションに出展するなど、世界規模のブランド発信基地としての役割を果たしております。

以上の結果、当事業全体の売上高は前年同期比5.7%増の8,180百万円、セグメント利益(営業利益)は前年同期比42.3%増の652百万円となりました。

#### ② 繊維関連事業

アパレル企業向けのOEM事業におきましては、天候不順や百貨店のセール時期の見直し等があり、衣料品の小売状況が不安定に推移するなか、生産基盤の確立とクイックレスポンスによる納品体制の確立に注力いたしました。

また、多様化する消費者ニーズに対応するため、情報収集力、企画提案力の向上による主要取引先との取り組み強化を図ることにより、売上、利益ともに前年を上回る結果となりました。

以上の結果、当事業全体の売上高は前年同期比1.4%増の5,629百万円、セグメント利益(営業利益)は前年同期比9.3%増の186百万円となりました。

## ③ 生活関連事業

タオル、寝装、寝具などのリビング商品の販売におきましては、ブランド商品のギフト市場は低調に推移したものの、ブランドの特性を活かした店頭販売に注力し、また産地物タオルなど好調な商品もあり前期並みの売上を確保いたしました。

また、パジャマなどのOEM生産も効率的な事業展開により比較的健闘するほか、涼感寝具などの季節商品は天候不順の影響で伸び悩みましたが、主力の枕の販売は堅調に推移いたしました。

以上の結果、当事業全体の売上高は前年同期比2.8%増の4,131百万円、セグメント利益(営業利益)は前年同期比5.9%増の234百万円となりました。

## ④ 不動産賃貸事業

大阪の賃貸ビルをメインとして、東京、横浜、神戸等の不動産に係る賃貸事業は、市場の需給悪化の影響もあり稼働率が低下するなど、減収減益となりました。

以上の結果、当事業全体の売上高は前年同期比7.9%減の1,057百万円、セグメント利益(営業利益)は前年同期比14.2%減の383百万円となりました。

## ⑤ その他

物流倉庫事業、ビルメンテナンス事業、内装工事業等の売上高は前年同期比1.6%減の708百万円、セグメント利益(営業利益)は前年同期比17.5%減の16百万円となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## ① 資産、負債及び純資産の状況

## (資産)

当第2四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べて373百万円(2.1%)増加し、18,577百万円となりました。これは商品及び製品が754百万円増加、受取手形及び売掛金が696百万円増加した一方で、現金及び預金が1,016百万円減少したことなどによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて1,873百万円(6.3%)減少し、27,970百万円となりました。これは投資有価証券が1,698百万円減少したことが主なものであります。

この結果、総資産は前連結会計年度末に比べて1,500百万円(3.1%)減少し、46,548百万円となりました。

## (負債)

当第2四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末に比べて540百万円(2.8%)増加し、19,859百万円となりました。これは支払手形及び買掛金が773百万円増加、短期借入金が455百万円増加した一方で、未払法人税等が365百万円減少、未払費用が362百万円減少したことなどによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて1,091百万円(17.7%)減少し、5,061百万円となりました。これは繰延税金負債が460百万円減少、長期未払金が411百万円減少、長期借入金が229百万円減少したことなどによるものであります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べて550百万円(2.2%)減少し、24,920百万円となりました。

## (純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて949百万円(4.2%)減少し、21,627百万円となりました。これはその他有価証券評価差額金が1,026百万円減少、純資産から控除している為替換算調整勘定が108百万円増加したことなどによるものであります。

## ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べて1,142百万円減少し、当第2四半期連結会計期間末には、4,258百万円となりました。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益の計上額が1,170百万円、仕入債務の増加額が777百万円あったものの、たな卸資産の増加額が766百万円、売上債権の増加額が719百万円、法人税等の支払額が655百万円あったことなどにより、363百万円の支出となりました。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出が212百万円、定期預金(預入期間が3か月超)の預入による支出が125百万円あったことなどにより、356百万円の支出となりました。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の純増加額が455百万円あったものの、配当金の支払額が566百万円、長期借入金の返済による支出が254百万円あったことなどにより、393百万円の支出となりました。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の業績につきましては、平成24年5月15日の決算発表時に公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

この変更による損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,401	4,384
受取手形及び売掛金	7,826	8,522
商品及び製品	4,375	5,129
仕掛品	16	34
原材料及び貯蔵品	149	138
その他	442	374
貸倒引当金	△7	△7
流動資産合計	18,204	18,577
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,703	9,557
土地	3,876	3,876
その他(純額)	531	620
有形固定資産合計	14,111	14,054
無形固定資産		
商標権	3,808	3,653
その他	168	171
無形固定資産合計	3,977	3,825
投資その他の資産		
投資有価証券	10,913	9,214
その他	1,577	1,611
貸倒引当金	△735	△735
投資その他の資産合計	11,755	10,090
固定資産合計	29,844	27,970
資産合計	48,048	46,548



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,520	6,294
短期借入金	10,594	11,049
1年内返済予定の長期借入金	484	459
未払費用	1,337	974
未払法人税等	616	251
返品調整引当金	250	244
その他	516	586
流動負債合計	19,318	19,859
固定負債		
長期借入金	1,065	835
長期未払金	624	212
繰延税金負債	2,897	2,437
退職給付引当金	600	616
長期預り金	773	712
その他	191	246
固定負債合計	6,153	5,061
負債合計	25,471	24,920
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,000	3,000
資本剰余金	6,165	6,165
利益剰余金	18,377	18,569
自己株式	△5,235	△5,235
株主資本合計	22,308	22,500
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,384	2,357
繰延ヘッジ損益	△0	△7
為替換算調整勘定	△3,497	△3,605
その他の包括利益累計額合計	△113	△1,256
少数株主持分	382	382
純資産合計	22,577	21,627
負債純資産合計	48,048	46,548

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	17,828	18,365
売上原価	10,679	11,008
売上総利益	7,149	7,357
販売費及び一般管理費	6,143	6,112
営業利益	1,005	1,244
営業外収益		
受取利息	3	2
受取配当金	162	150
貸倒引当金戻入額	38	0
その他	51	30
営業外収益合計	255	183
営業外費用		
支払利息	59	54
為替差損	57	36
投資事業組合運用損	12	33
その他	25	37
営業外費用合計	156	161
経常利益	1,104	1,266
特別利益		
固定資産売却益	17	—
特別利益合計	17	—
特別損失		
投資有価証券評価損	64	95
出資金評価損	14	—
特別損失合計	79	95
税金等調整前四半期純利益	1,042	1,170
法人税、住民税及び事業税	350	303
法人税等調整額	39	101
法人税等合計	390	405
少数株主損益調整前四半期純利益	652	765
少数株主利益	8	7
四半期純利益	643	758

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	652	765
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△781	△1,026
繰延ヘッジ損益	△17	△7
為替換算調整勘定	△119	△108
その他の包括利益合計	△918	△1,142
四半期包括利益	△265	△377
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△274	△384
少数株主に係る四半期包括利益	8	7

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,042	1,170
減価償却費	382	365
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	43	△6
投資有価証券評価損益 (△は益)	64	95
受取利息及び受取配当金	△165	△152
支払利息	59	54
固定資産売却損益 (△は益)	△17	0
売上債権の増減額 (△は増加)	△785	△719
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,013	△766
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,124	777
未払費用の増減額 (△は減少)	△280	△356
その他	△184	△273
小計	269	190
利息及び配当金の受取額	166	153
利息の支払額	△62	△51
法人税等の支払額	△407	△655
営業活動によるキャッシュ・フロー	△34	△363
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	—	△125
有形固定資産の取得による支出	△100	△212
有形固定資産の売却による収入	19	1
その他	△21	△19
投資活動によるキャッシュ・フロー	△102	△356
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△263	455
長期借入れによる収入	1,000	—
長期借入金の返済による支出	△179	△254
配当金の支払額	△677	△566
その他	△22	△28
財務活動によるキャッシュ・フロー	△143	△393
現金及び現金同等物に係る換算差額	△28	△29
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△309	△1,142
現金及び現金同等物の期首残高	4,401	5,401
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,091	4,258

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報等

## 【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）

## ① 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ファッション 関連事業	織 維 関連事業	生 活 関連事業	不 動 産 賃貸事業	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	7,591	5,098	3,998	868	17,557	270	17,828	—	17,828
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	150	453	20	280	904	449	1,353	△1,353	—
計	7,742	5,552	4,018	1,148	18,462	719	19,182	△1,353	17,828
セグメント利益	458	170	221	446	1,297	20	1,317	△311	1,005

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流倉庫事業、ビルメンテナンス事業及び内装工事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△311百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△271百万円及びセグメント間取引消去等△40百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## ② 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年9月30日）

① 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	ファッション 関連事業	織 維 関連事業	生 活 関連事業	不 動 産 賃貸事業	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	8,040	5,195	4,120	782	18,139	226	18,365	—	18,365
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	139	433	10	275	859	481	1,341	△1,341	—
計	8,180	5,629	4,131	1,057	18,999	708	19,707	△1,341	18,365
セグメント利益	652	186	234	383	1,457	16	1,473	△229	1,244

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流倉庫事業、ビルメンテナンス事業及び内装工事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△229百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△218百万円及びセグメント間取引消去等△11百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

② 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。